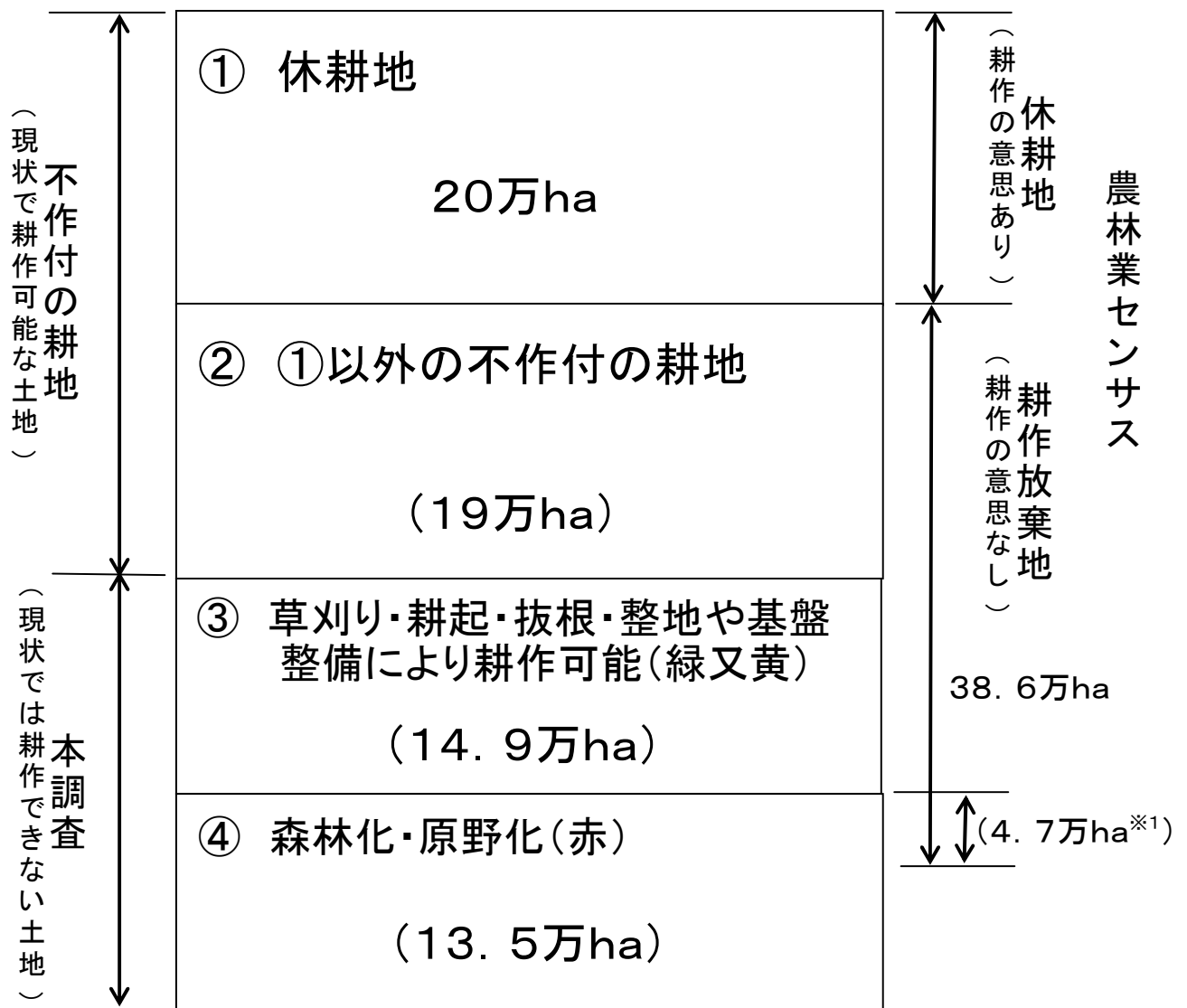


平成20年度耕作放棄地全体調査と農林業センサスの関係について

- 耕作放棄地は、農林業センサスにおいて、「以前耕地であったもので、過去1年間以上作物を作付けしていない土地のうち、この数年間に再び作付けする考えのない土地」(原野化しているものは含めない。)との定義の下、農家等の意思に基づき調査、把握したもの。
- これに対し、今回の調査により把握した土地は、以前耕地であったもので、実際の土地の状況からみて、現状では耕作できないものと市町村等が判断した土地。(荒廃の程度等によって、緑、黄、赤に区分。本調査では農家の耕作の意思は確認していない。)
- このため、両者が調査対象としている土地は一致していない。
- なお、農林業センサスにおける耕作放棄地と本調査結果を整理すると、関係は次のイメージ図のとおりとなる。



※1 (4.7万ha) = 38.6万ha - (19万ha) - (14.9万ha)

※2 ()書きの数値は推計値